



高松信用金庫

入庫案内

経営理念

われわれは郷土の
すべての企業に繁栄を
すべての家庭に幸福を
もたらすために奉仕する

受付
19.2.25
キリアセンター

信用金庫という組織は、株式会社である銀行とは異なり、
地域の企業や人々が会員となつてつくれた
地域のための協同組織の金融機関です。
銀行とは基本理念や社会的役割が違います。
地元の企業、地元で暮らす人々のために、
あなたの笑顔と情熱を活かせる場所が
高松信用金庫にあります。



渉外担当
岡 英俊
平成22年入庫

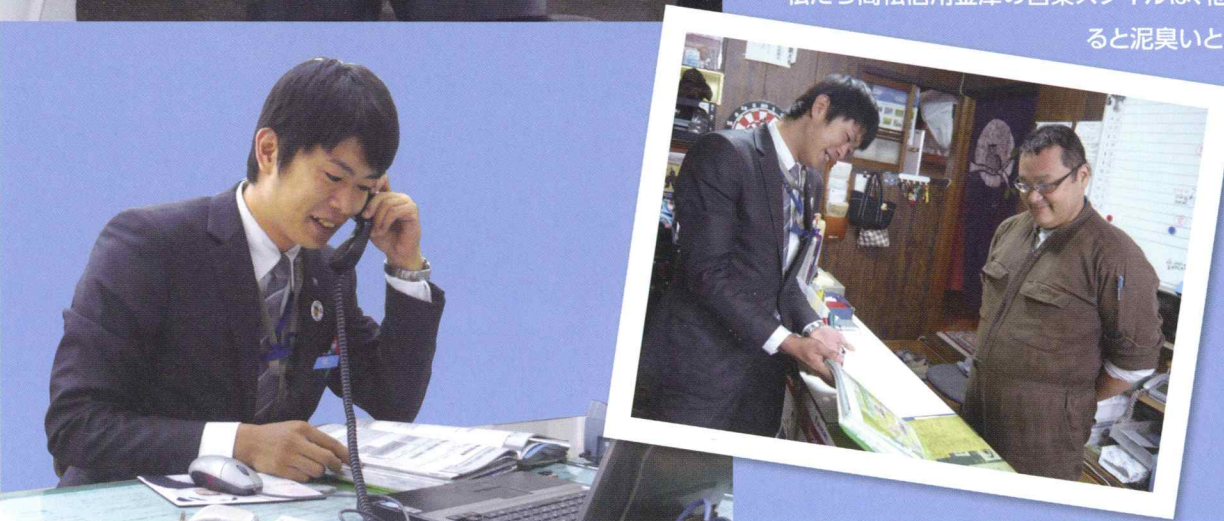
お客様一人ひとりと コミュニケーションを第一に。

渉外担当になって2年になります。渉外の仕事は、企業や商店、個人といった様々なお取引先へ伺い、預金の入出金や振込み手続き、融資に関する相談、国債・投資信託・保険といった金融商品の案内など、幅広い提案を行います。渉外担当はアクティブに動いて、お客様一人ひとりとコミュニケーションをとる「信用金庫の花形業務」です。

担当するお客様のところには、もちろん他の多くの金融機関の方達も通っています。そんな中、お客様が私たちを選んでくれる理由を聞くと、よくこんな事を言われます。「よく来てくれるから助かるよ。」「なんか気軽に話せるんよね。」地元の中小企業がお客である当金庫にとって、できる限りお客様の近くに寄って話をし、同じ空気感を共有できることが最も大切だと感じています。一方でそれはお客様の悩みを聞いたり、ニーズをつかみ取る場であったりするので、事務所が手狭になってきたとか、お子さんが大学に入るとか、そういう日常的な会話の中に、当金庫がお役に立てることがあるからです。

私たち高松信用金庫の営業スタイルは、他の金融機関と比べると泥臭いところもあります。そ

れこそが、都市銀行や地方銀行にも負けない信用金庫の強みだと思っています。



渉外担当
松岡 志おり
平成22年入庫



一番に声をかけてもらえる存在でありたい。

会社説明会で先輩職員の方が「様々な業種の方と会い、話をすることができ自分の知識が増えることが楽しい」といきいきと話しているのを見て高松信用金庫に興味を持ちました。自分の育った地域の方々とふれあい、地域に貢献していくことができること、また女性職員が育児休暇を取った後の職場への復職率等が高いということも高松信用金庫に決めた点です。

今私は渉外担当として地域のお客様のところへ定期積金で毎月訪問させていただいています。信用金庫ならではの、地域密着ならではの業務だと思います。毎月必ず同じ日に伺う。時間を守る。きちんと挨拶をする。その積み重ねから信頼関係が生まれます。

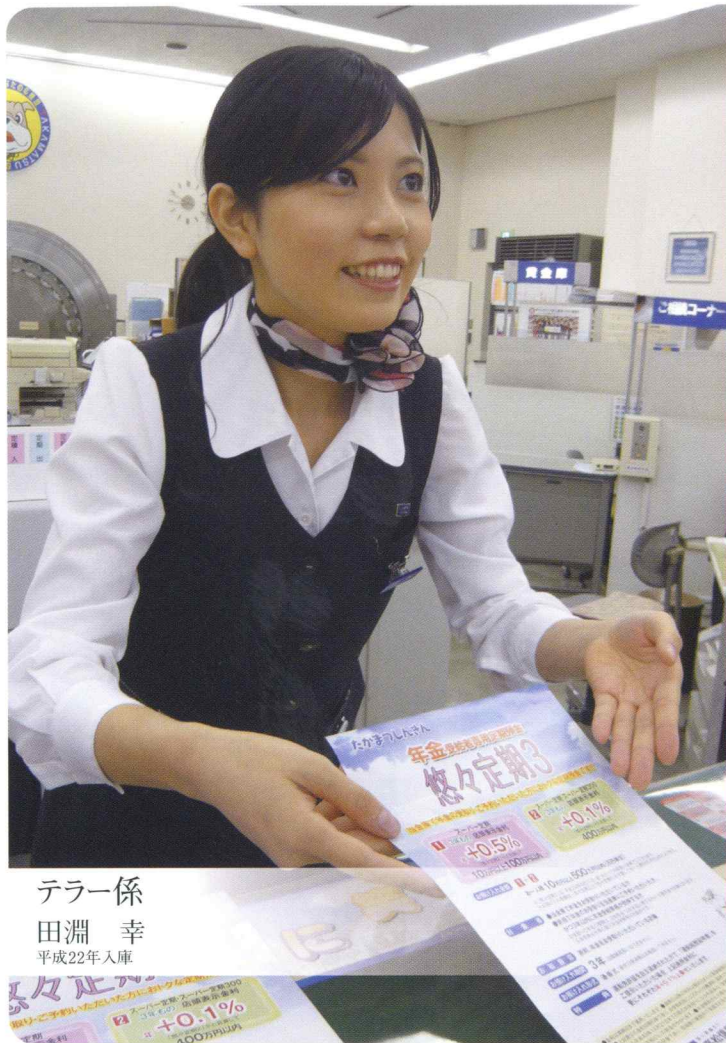
訪問の約束をしたら、雨が降っても時間通りに訪問しなければいけません。雨の中バイクで出て行くのが億劫に感じることもありますが、お客様に「雨の中来てくれてありがとう。助かるわ。」と声をかけていただくと、そんな気持ちも一気に吹き飛び、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。地域のお客様に足を運んでこそその信用金庫の仕事です。

住宅ローンやマイカーローンなど、お金の相談は誰にでもできるものではないと思います。ささいな悩みや相談、何かあるときは一番に声をかけてもらえる存在でありたいといつも考えています。

渉外担当一日のスケジュール

8:30	始業時間
	訪問の準備
9:30	営業に出発
12:00	一時帰店
	午前中にお預かりした現金の集計
	お取引先のうどん屋さんや定食屋さんで昼食
13:00	再び出発
	1日で約30先のお取引先を訪問
16:00	帰店
	現金の集計、事務処理など、翌日の営業の準備
	お客様への提案書、融資の稟議書など書類の作成
17:30	終業時間
	お客様との約束、残っている仕事などがあれば残業
	帰宅後も、試験前は勉強するなど自己研鑽が欠かせません





テラー係
田淵 幸
平成22年入庫

face to faceから生まれる お客様との絆。

テラー係は営業店の顔です。明るい笑顔でお客様と接しようと心掛けていますが、来店されるお客様がお孫さんの話をしてくれたり、趣味で作った物を見せてくれると自然と笑顔になってしまいます。また、年金の相談をいただいたお客様から後日お礼の電話をいただいたときは、とても嬉しかったです。

就職活動中に、信用金庫について「地域密着である」「お客様が一番近い存在である」と頭では理解していたのですが、実際に仕事をしていく中で、私たち信用金庫の強みは「face to face」であると実感しています。お客様のご自宅や事業所に直接足を運ぶのは渉外係ではありません。私たち内勤者も窓口営業時間が終わってから、日中は忙しくて営業時間内に来店できないお客様のもとへ商品のご提案にお伺いすることもあります。お客様と直接コミュニケーションをとってお取引やご提案ができることにやりがいを感じています。



本部 融資部
瀬嶋 祐一郎
平成19年入庫

お客様の一番身近な存在で ありたいという想いを忘れずに。

高松信用金庫では、入庫後、預金、融資、為替などの基本的な業務を経験し、その後渉外、管理部門などへ配属されます。私も営業店で後方事務や渉外担当を経験した後、初めての転勤で融資部に配属されました。融資部では、営業店から持ち込まれる融資案件の審査や営業店の融資事務の取りまとめをしています。

専門知識が必要とされる部署ですので配属当時は、日々の会話で飛び交う言葉の意味さえも全く分からない状況でした。このままではいけないと必死で勉強し、また周りの先輩や上司にもサポートしていただき、今では何とかついていけるようになりました。高松信用金庫は年齢や経験に関わらず、様々な業務に携わるチャンスを与えてくれます。前向きな人には惜しみないサポートをくれることも当金庫の良さだと思っています。

渉外業務のように毎日お客様と接する機会は減りましたが、お客様の一番身近な存在でありたいという想いは、ずっと変わりません。営業店からは毎日、融資に関する様々な問い合わせや相談がありますが、それらに対し常に正確に、丁寧に対応することを心がけ、その先にいらっしゃるお客様のお役に立ちたいと思っています。



後方担当(融資)
西山 弘晃
平成24年入庫

挑戦のチャンス 成長へのステップへ。

就職先を選ぶ際、「人の優しさ」が決め手となって高松信用金庫に入庫したのですが、就職活動中に感じた「優しさ」は仕事をする上でも実感しています。

私は現在入庫1年目で融資の後方事務を担当していますが、比較的小さい店舗のため、後方事務の仕事だけでなく、窓口対応やお取引先への訪問など幅広い仕事を早くから経験させてもらっており、それぞれの分野で頼りになる先輩から丁寧に指導いただいています。

渉外業務の経験を積むために1社お客様を私に任せてくれていて、最初の1週間は上司と一緒に同行してくれましたが、以降は一人のお客様との関係づくりを進めています。新人でもやらせてくれる、これが高松信用金庫の良さだと思います。その期待に応えるためにも、挑戦の機会を自ら成長の機会にしたいと思っています。



同期の仲間は何でも話せる
かけがえのない存在です。



後方担当(預金)
長井 佐哉香
平成24年入庫

いつも元気の良い挨拶と笑顔 を忘れずに。

現在は預金業務を中心に、電話対応、貸金庫の受付など、後方事務として窓口業務のサポートを担当しています。

預金業務は、信用金庫業務の基本となる仕事です。テラー、渉外、融資すべての仕事の根幹となる仕事ですので、仕事の意味や流れを考えながら覚えていくように心がけています。こまごまとした仕事も多いですがどれも疎かにしてはいけない大切な仕事です。

私は入庫1年目で、知識や経験は先輩職員にはかないませんが、新人でもできる元気の良い挨拶と笑顔だけはどんなときでも忘れずにしようと決めて仕事に取り組んでいます。すると1か月ほどたった頃にお客様から「新人さん?元気がいいね。最近の信用金庫は感じが良くなったね。」と褒められたことができたのです。他にも「長井さんの名前はもう覚えたよ。これからも大変なことが多いと思うけど頑張るね。」と声をかけてくださることもありました。

将来はテラー担当として活躍したいと思っているので、先輩職員の接客を見て勉強しています。日々の業務を確実に覚え、一日も早く自信を持って窓口で立てるよう頑張ります。



メセナ活動は役職員同士が
仲良くなるきっかけにもなります。

わたしたち高松信用金庫は、香川のまちの一員として、
地域社会の様々な場面でお役に立てる存在でありたいと考えています。



地域奉仕活動

各店が主体的に地域の奉仕活動に参加しています。川や海岸の清掃、献血、老人ホームの慰問など内容は様々です。なかには役職員だけでなく、役職員の家族、OBも一緒になって参加するものもあり、地域の方々と協力し、楽しみながら活動を行っています。



お祭りへの参加

「たかまつしんきん連」として「さめき高松まつり」「丸亀お城まつり」「かんおんじ銭形まつり」「さかいで大橋まつり」など各地域のお祭りに参加しています。大勢の人が集まるお祭りだけではなく、小さな商店街や神社のお祭りにも屋台のお手伝いとして積極的に参加して地域の行事を盛り上げています。



金融教育・インターンシップ

県内の小学生から大学生に対し、学年に応じた金融教育、職場見学を実施しています。お金の大切さから、経済の仕組み、金融機関の仕事内容など、将来を担う子どもたちに経済や金融業務に興味を持ってもらえるようなカリキュラムを用意し、好評をいただいております。



環境保全活動

クールビズ、ウォームビズを始め、営業店舗内のこまめな消灯や省エネ設備の導入など業務による環境負荷削減に取り組んでいます。またこれまでに、募集金額の一部を香川県環境保護支援に役立てていただく定期預金や、環境保全に積極的に取り組まれている企業を支援する融資商品などを提供しており、特色ある金融商品の開発にも力を入れています。



私が入庫するずっと前、CSR(企業の社会的責任)という言葉が注目される前から、本業である金融業務以外でも地域社会の発展に貢献したいと考え、地域の方々と交流を深めているそうです。「さめき高松まつり」には第1回から40年以上連続して出場しています。私はダンスが趣味なので、踊っていて楽しいのはもちろんですが、「お祭り見たよ」と後日お客様から声をかけていただくこともあり、とても嬉しい気持ちになります。大きいお祭りだけでなく、支店ごとにその地域の行事に積極的に参加しています。私の支店では、神社の夏祭りで餠のつかみ取りをしていて、毎年子どもたちに人気です。当金庫の蓮井理事長からは「地域の方々のためを考えての行動であるなら、現場の思うように

やってみてください」と言われており、お客様と関わっていく中で、こうすればお客様が喜んでくれるんじゃないかなということがあれば自ら提案し、行動していこうと思っています。

渉外担当
坂東 知樹
平成22年入庫



皆さんからのよくあるご質問

Q&A



Q 求める人材像について教えてください。

A 当金庫が求める人材は、香川を愛し、香川の人々の幸せを願って、創意工夫と前向きな精神で努力し、地域経済の発展に情熱を燃やそうとする方です。

また、「たかまつしんきん」の仕事は、人と人のふれあい語らい、つまり「Face to Face」が基本ですので、明るい対応ができお客様から親しまれる方を求めています。

- 常に向上心があり、やる気、元気、根気のある人=根性のある人
 - 地元で、地元のために、生涯働きたいという人=香川で一生活きたい人
- 現時点での知識は問いません。熱い気持ちを持っている方をお待ちしています。



Q 配属後はどのような仕事をするのですか？

A 最初の配属先は、原則営業店となります。入庫後約1年間は、預金業務や融資業務の後方事務をしながら、書類の書き方や、接客の仕方など、信用金庫業務の基本を身につけていただきます。その後個人の習得具合や適性等に応じてテラー係や渉外係等に係替えを行います。また約3年ごとに転勤もありません。



新入職員研修カリキュラムも充実しています。

Q 職場の雰囲気教えてください。

A アットホームな職場です。ほとんどが地元出身者で、香川県内の本支店で勤務しておりますので、大企業のように転勤したらそれっきりというわけではなく、職員同士の結びつきが強く、仕事のことも、仕事以外のことも何でも相談できる関係が築けると思っています。紙面だけではお伝えしきれないので、ぜひ先輩職員と話しをしてみてください！



信用金庫対抗のバレーボール大会での1コマ

Q 働きやすい職場ですか？

A 香川県内のみ本支店を配置していますので、どの支店に配属されても通勤にそれほど時間を費やすことなく、転居を伴う転勤は基本的にありません。



子どもの急な病気のときなども、まわりの人たちが協力してくれるので助かっています。信用金庫での仕事が好きなのでずっと続けられる環境がありがたいですし、逆に仕事がいまいきかないときは子どもの笑顔に癒されたり、励まされたりしており、仕事と子育てどちらが欠けても私らしい生き方ができないと思っています。そんな私にとって高松信用金庫は働きやすい職場です。結婚後、出産後も仕事を続けて活躍している女性職員は増えていきますので、後輩のサポートもしていきたいと考えています。



テラー担当
植松 里奈
平成20年入庫





地域の人々を支え、事業を支え、
 地域社会の未来を創っていくのが
 わたしたちの使命です。
 その原動力となる
 あなたの情熱を求めています。

